

発行：彦根市
編集：情報政策課
● 1日・15日発行

Brasilへ ようこそ!



最終回 また「ただいま」と言える日まで

私がブラジルから彦根に来て、国際交流員として市役所で仕事を始めたのが今から5年前でした。

皆さんにブラジルの文化を親しみを持ってもらえるよう連載しました『Brasilへようこそ!』も、今月号で最後になります。

このコーナーで伝えなかったこと。それは「ブラジルのことをもっと知ってほしい」ということでした。

文化や風習の違い、ブラジルからみた日本の姿、地球の反対側なのに、なぜかよく似ている日本とブラジルのことなど、それらを知っても



エジナさんの活動から
◀ブラジル料理教室
▼外国語による行政
制度説明会



◀ さようなら、エジナさん

らうことで、日本とブラジルの距離が少しでも近づいてくれたらいいなと思ったからです。

日本人もブラジル人も国籍に関係なく、お互いの違いを認め合い、豊かにつながりあいながら暮らしていける、そんなまちになってほしいという思いで、私ができることをしてきました。

できたことも、できなかったこともあります。できなかったことには悔しい思いもあります。日本でいろいろな経験をするなかで、たくさん楽しいこともあったし、「ブラジルに帰りたい」と思ったこともありました。

でも、どんなときも近くにいて、応援してくれる人たちがいました。いつも私のことを「お帰りなさい」と迎えてくれる、このまちとももうすぐお別れです。

桜が咲く頃には、新しい国際交流員がやってきます。私を応援してくださったように、温かく迎えてほしいと思います。

このコーナーを読んでくださったり、私を支えてくださった皆さんへ。

「5年間、お世話になりました。Muito(ムイト) obrigada(オブリガダ)!」

※ Muito obrigada は、ポルトガル語で『本当にありがとうございます。』という意味です。

【彦根市国際交流員 平田エジナ】

全国的にも桜の名所として知られている彦根城ですが、江戸時代の城内に桜はありませんでした。昭和9年(1934)、彦根町議会議員の吉田繁治郎さんが、ソメイヨシノの苗木1,000本を買い入れて自ら植樹したのが始まりです。ちょうど80年前のことです。一般的に、ソメイヨシノの寿命は60年から70年といわれており、城内の桜は老衰期に入っています。彦根市では、ボランティアの協力を得て肥料を与えたり適切な剪定をしたりして、桜の保護に努めています。

彦根城内の桜

表紙の写真



人口と世帯数

平成26年3月1日現在

人口	112,731人(-3)
男	55,703人(-3)
女	57,028人(±0)
世帯数	45,068世帯(+8)

() 内は前月との比較